参考資料２

府民の歯と口の健康をめぐる現状と課題（直近値）

基本方針１ 歯科疾患の予防・早期発見、口の機能の維持向上

※ 第３次大阪府歯科口腔保健計画 第３章及び第５章に掲載のデータの直近値

１ 乳幼児期（０歳～５歳） 計画 P.7

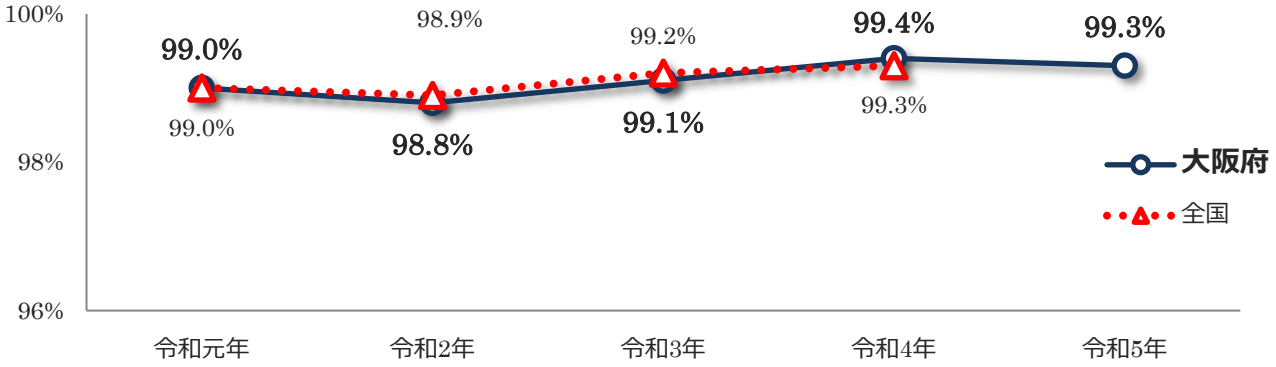
① １歳６か月児、３歳児、いずれの年齢においてもむし歯のない者の割合は概ね増加傾向です。（図１）、（図３）

② むし歯のない者の割合について二次医療圏間の差は、１歳６か月児では 99.1～99.6%と 0.5%、３歳児では 88.9%～93.8%と 4.9%となっています。（図２）、（図４）

③ 大阪府のむし歯のない者の割合は全国と比較して、１歳６か月児では概ね変わらず、３歳児では全国より低い状況となっています。（図１）、（図３）※国令和５年度は未確定。

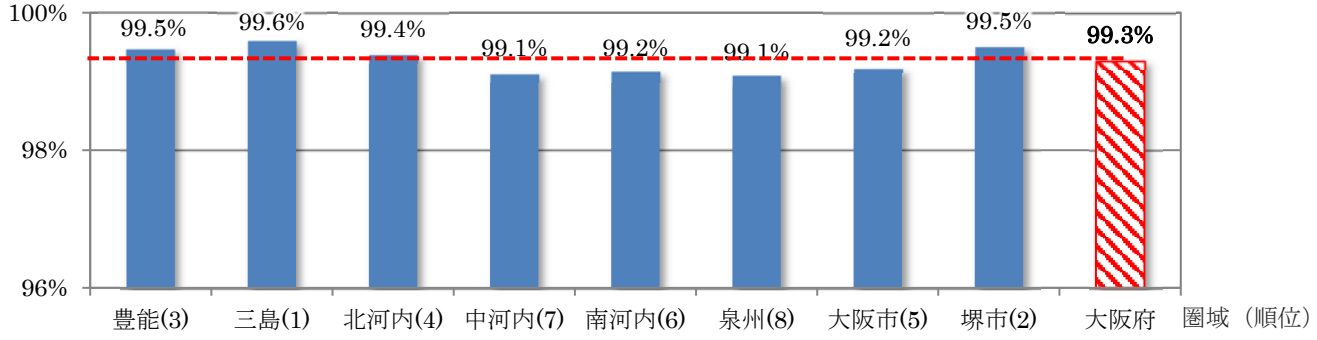
（１） １歳６か月児

【図１：１歳６か月児におけるむし歯のない者の割合】



出典：大阪府：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査、全国：地域保健・健康増進事業報告（全国）

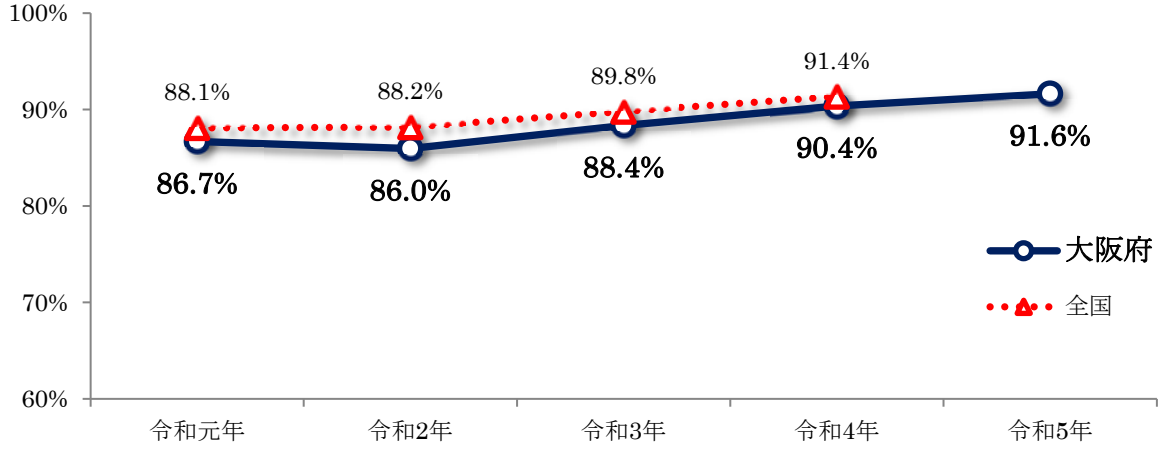
【図２：二次医療圏別１歳６か月児におけるむし歯のない者の割合（令和５年度）



出典：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

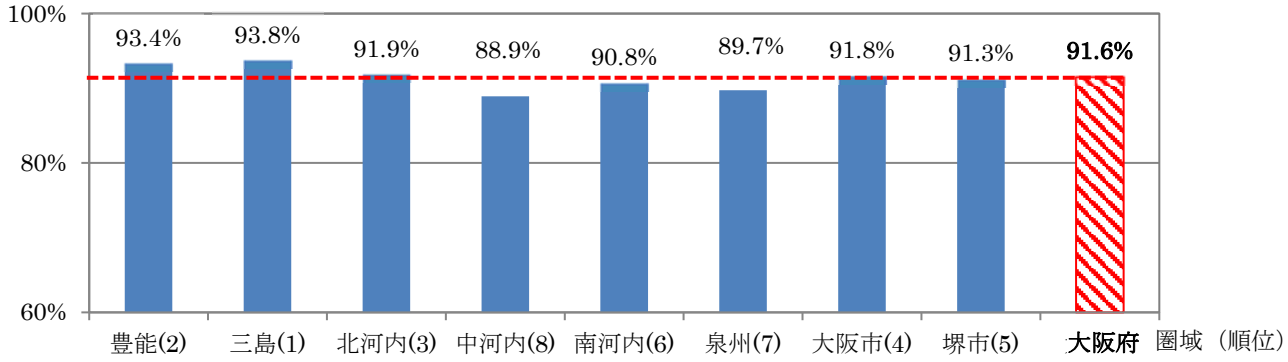
（２） ３歳児

【図３ ： ３歳児におけるむし歯のない者の割合】



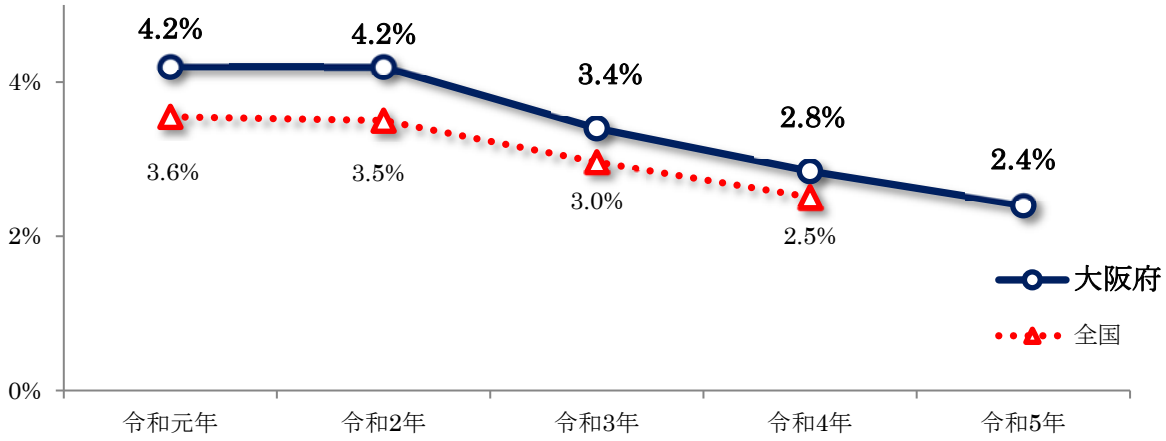
出典：大阪府：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査、全国：地域保健・健康増進事業報告（全国）

【図４ ：二次医療圏別３歳児におけるむし歯のない者の割合（令和５年度）】



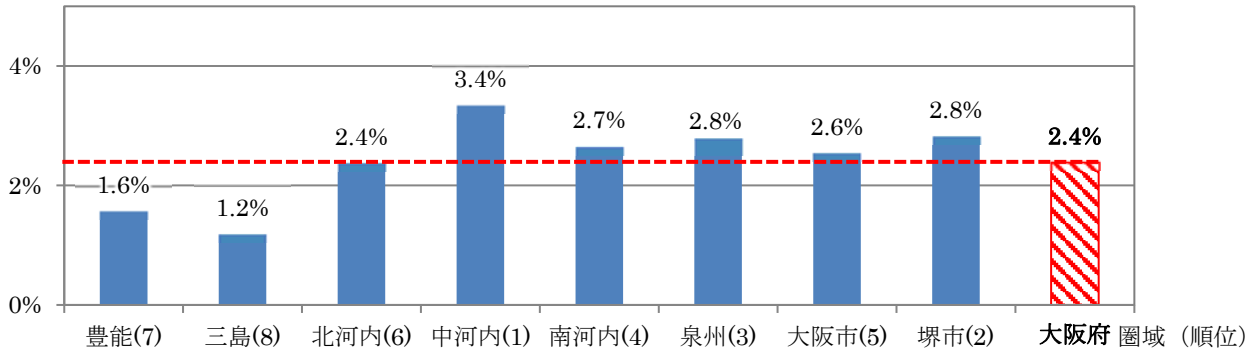
出典：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

【図５ ： ３歳児における４本以上むし歯を有する者の割合】



出典：大阪府：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査、全国：地域保健・健康増進事業報告（全国）

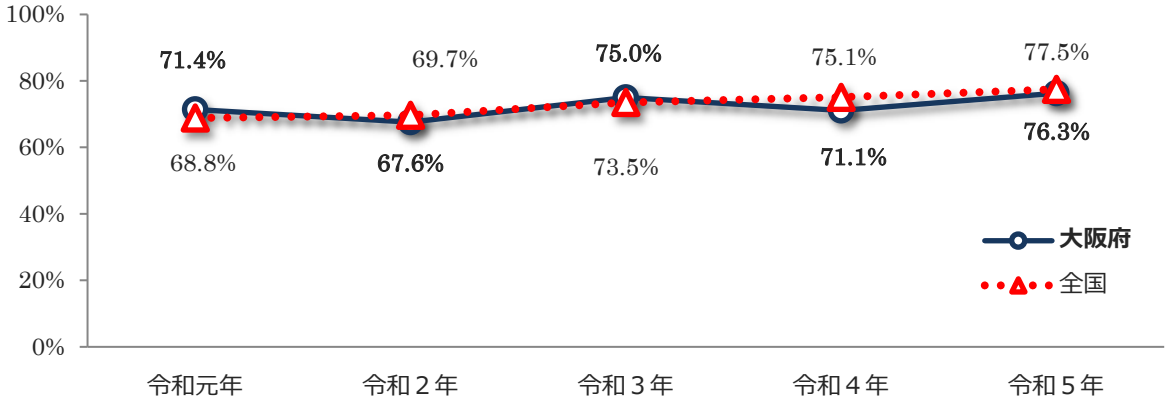
【図６：二次医療圏別３歳児における４本以上むし歯を有する者の割合（令和５年度）】



出典：母子保健関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

（３）幼稚園児（５歳）

【図７：５歳におけるむし歯のない者の割合】



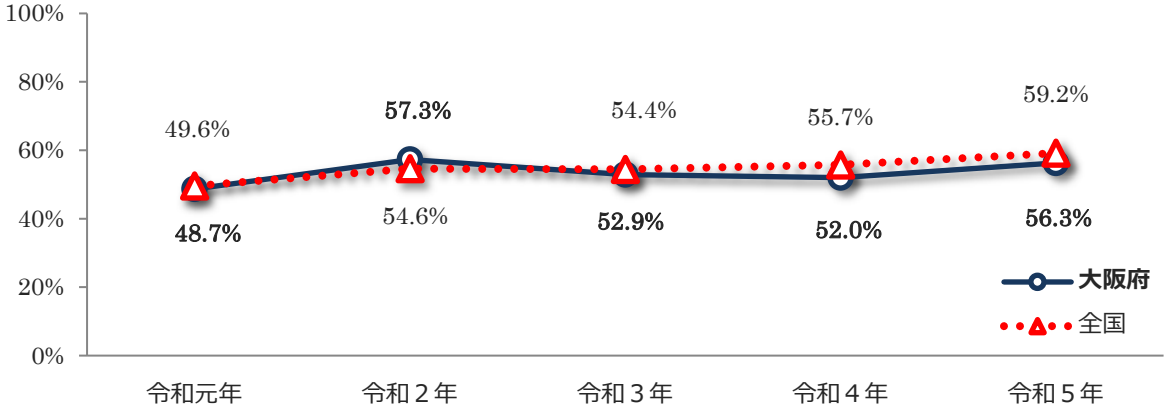
出典：学校保健統計調査

２　少年期（６歳～14 歳）　計画 P. 11

① 各年代において、むし歯のない者の割合は概ね横ばいです。（図８、図９）
② 12 歳における歯肉に炎症所見を有する者の割合は概ね横ばいです。（図１０）

（１）小学生（９歳）

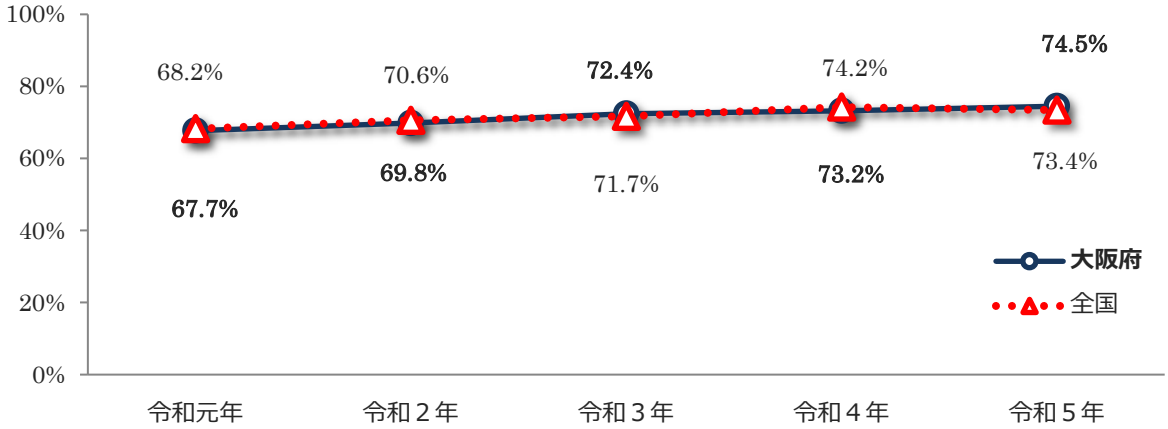
【図８：９歳におけるむし歯のない者の割合】



出典：学校保健統計調査

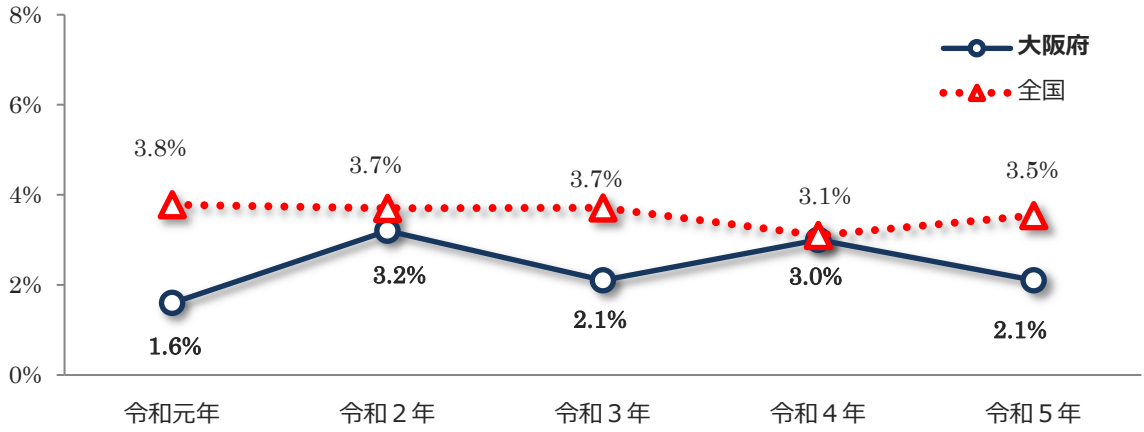
（２）中学生（12 歳）

【図９：12 歳におけるむし歯のない者の割合】



出典：学校保健統計調査

【図 10：12 歳における歯肉に炎症所見を有する者の割合】

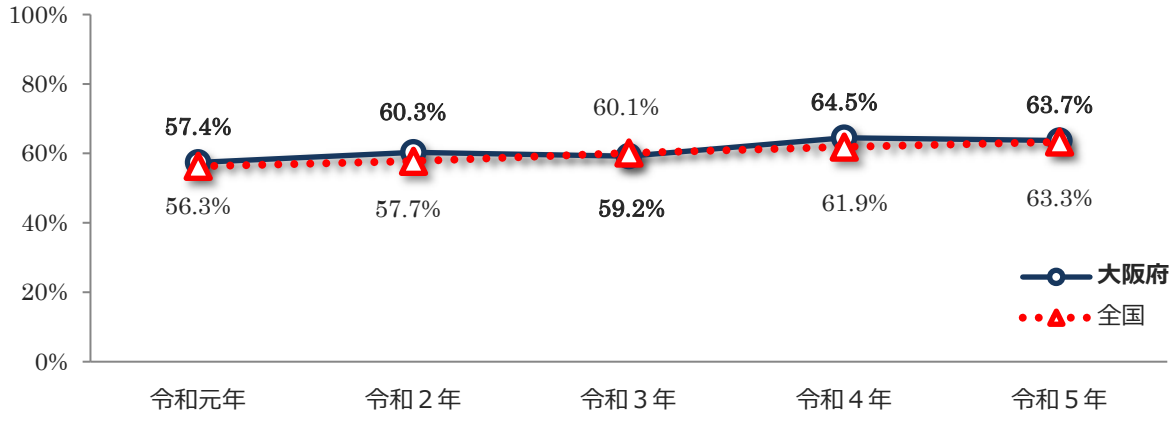


３　青年期・壮年期（15 歳～44 歳）　計画 P. 14

① １６歳におけるむし歯のない者の割合は概ね横ばいです。（図１１）
② １６歳における歯肉に炎症所見を有する者の割合は減少傾向です。（図１２）
③ ４０歳のむし歯治療が必要な者の割合は減少傾向です。（図１３）
④ ４０歳の歯周治療が必要な者の割合は増加傾向です。（図１４）

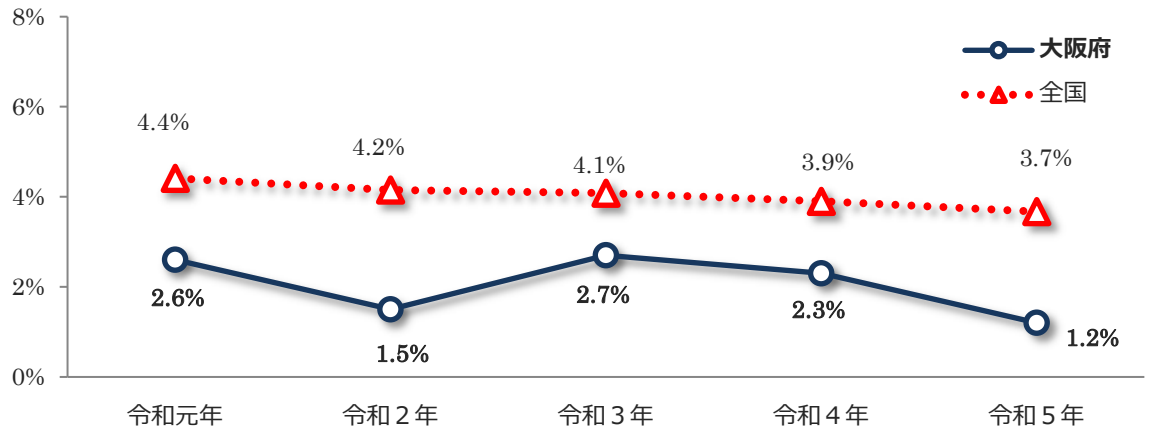
（１）高校生（16 歳）

【図 11：16 歳におけるむし歯のない者の割合】



出典：学校保健統計調査

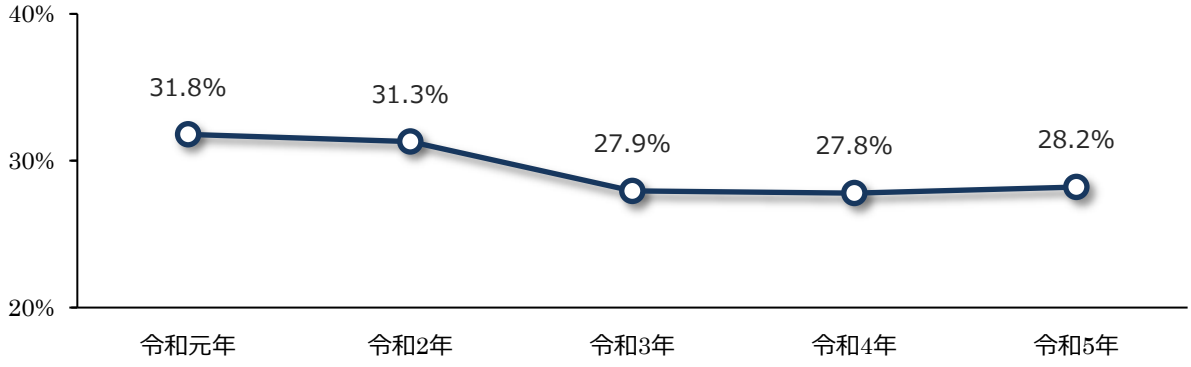
【図 12：16 歳における歯肉に炎症所見を有する者の割合】



出典：学校保健統計調査

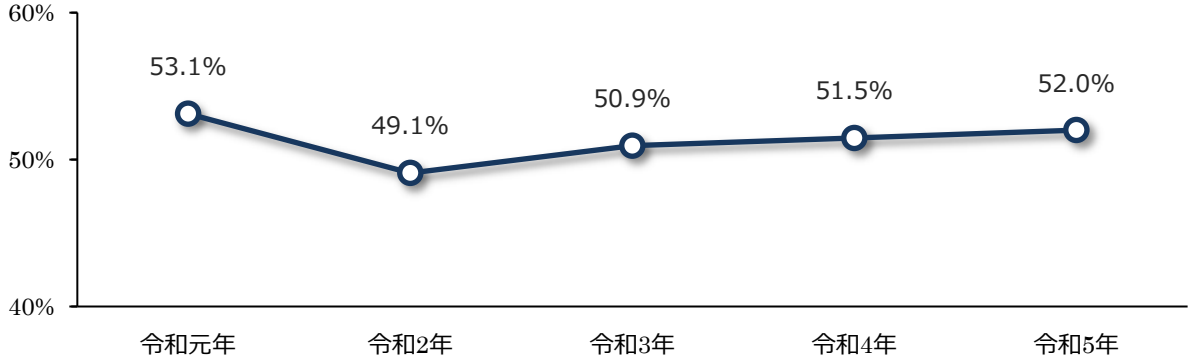
（２）むし歯及び歯周病

【図 13 むし歯治療が必要な者の割合（40 歳）】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

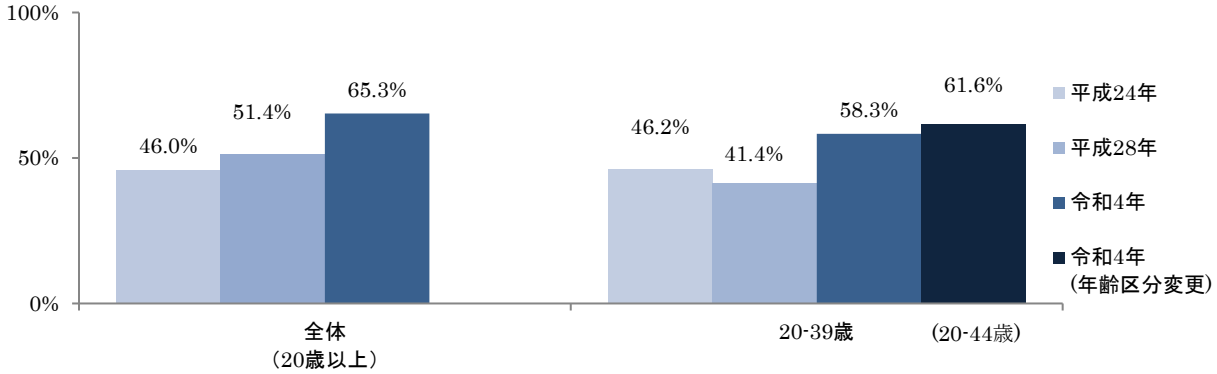
【図 14：歯周病の治療が必要な者の割合（40 歳）】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

（３）過去１年間に歯科健診を受診した者の割合

【図 15：過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合】



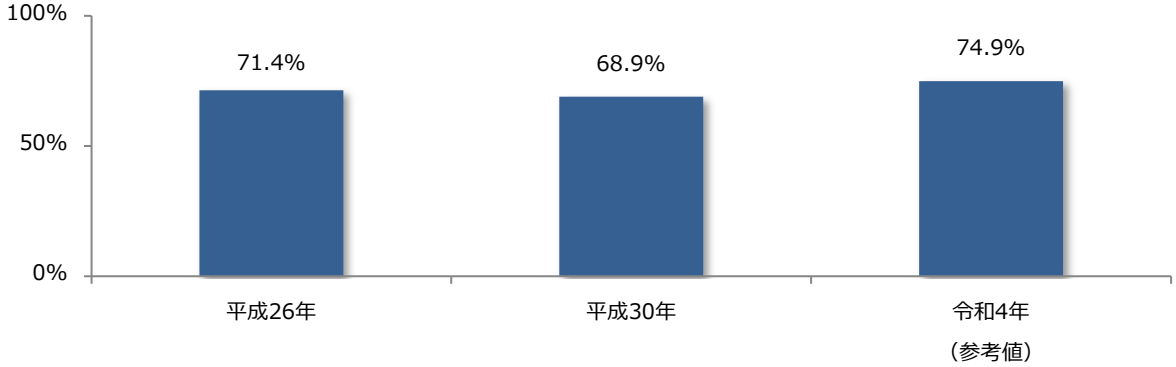
出典：「食育」と「お口の健康」に関するアンケート調査（大阪府）（平成 24 年）、健康づくり課で実施したネットアンケート（大阪府）（平成 28 年）、大阪府健康づくり実態調査（令和 4 年）

４　中年期・高齢期（45 歳～）　計画 P. 18

① 6024 達成者の割合、8020 達成者の割合は増加傾向です。（図１６）、（図１７）
② ６０歳のむし歯治療が必要な者の割合は減少傾向です。（図１９）
③ ６０歳の歯周治療が必要な者の割合は増加傾向です。（図２０）

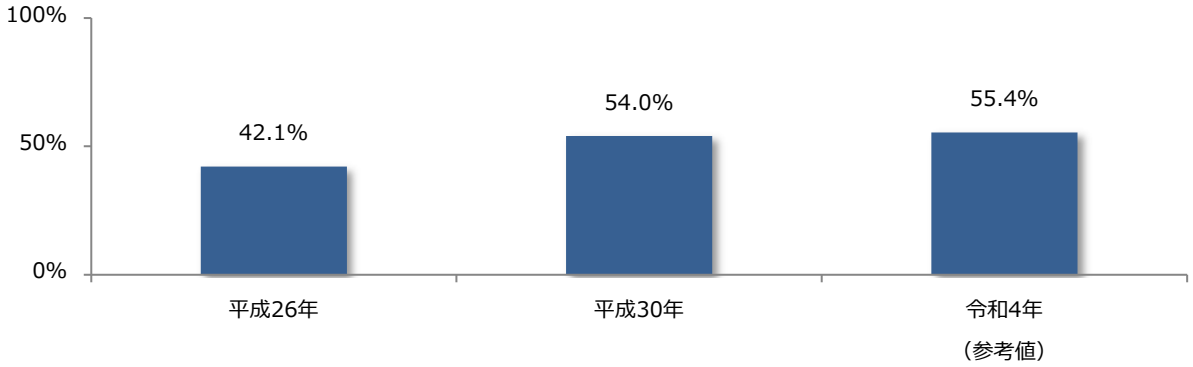
（１）歯の保有状況

【図 16：自分の歯を 60 歳で 24 本以上有する者の割合】



出典：国民健康・栄養調査（大阪府集計）（平成 26 年（平成 25～27 年度調査）、平成 30 年（平成 29～令和元年度調査））、大阪府健康づくり実態調査（令和 4 年）

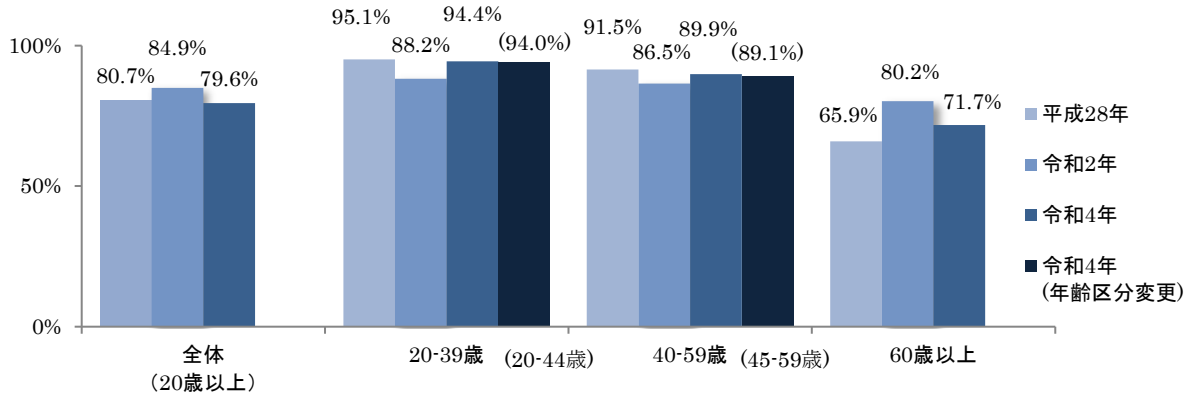
【図 17：自分の歯を 80 歳で 20 本以上有する者の割合】



出典：国民健康・栄養調査（大阪府集計）（平成 26 年（平成 25～27 年度調査）、平成 30 年（平成 29～令和元年度調査））、大阪府健康づくり実態調査（令和 4 年）

（２）咀嚼良好者の割合

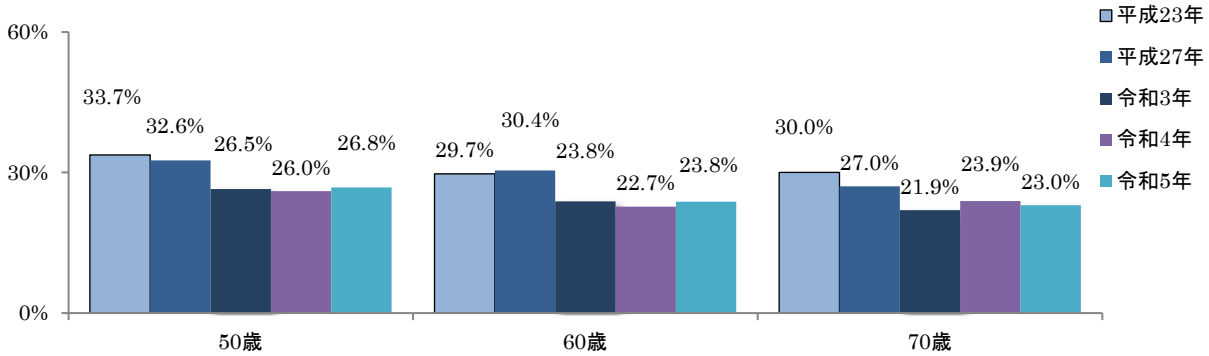
【図 18：咀嚼良好者の割合】



出典：「お口の健康」と「食育」に関するアンケート調査（大阪府）（平成 28 年）、健康づくり課で実施したネットアンケート（大阪府）（令和 2 年）、大阪府健康づくり実態調査（令和 4 年）

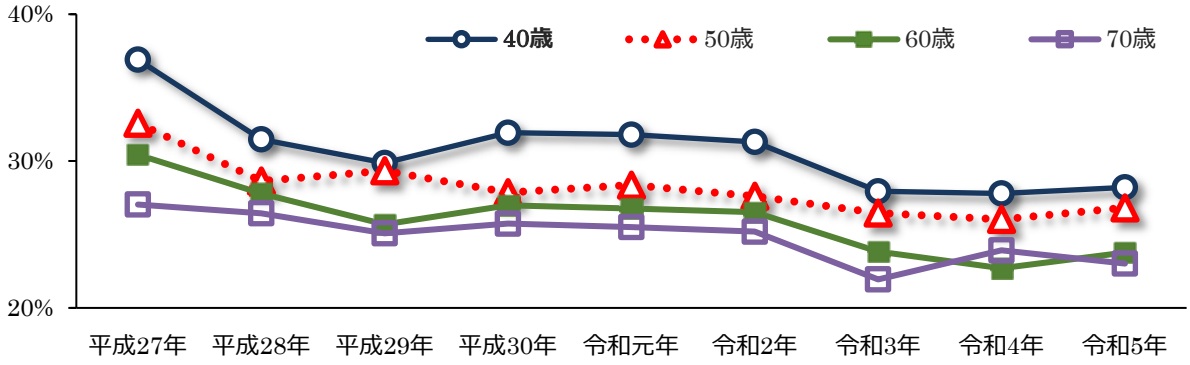
（３）むし歯の治療が必要な者の割合

【図 19：むし歯治療が必要な者の割合】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

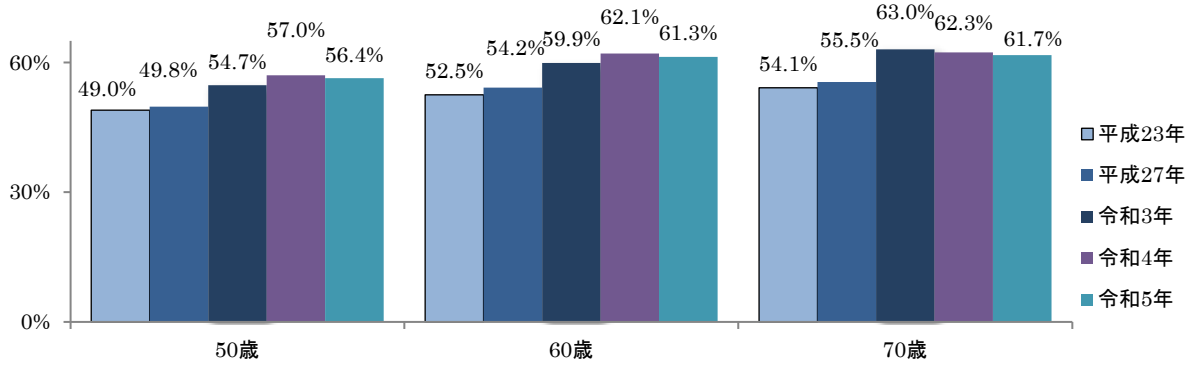
【参考：計画策定時からの推移（むし歯治療が必要な者の割合）】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

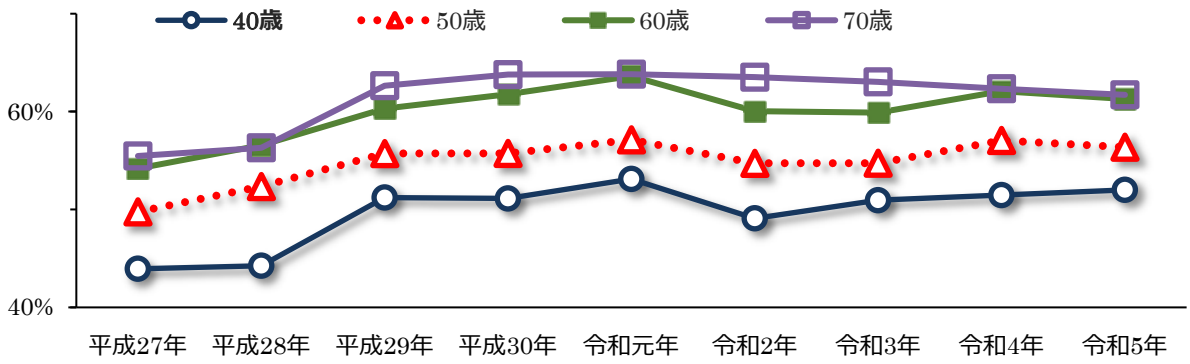
（４）歯周病の自覚症状がある者、治療が必要な者の割合

【図 20：歯周病の治療が必要な者の割合】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

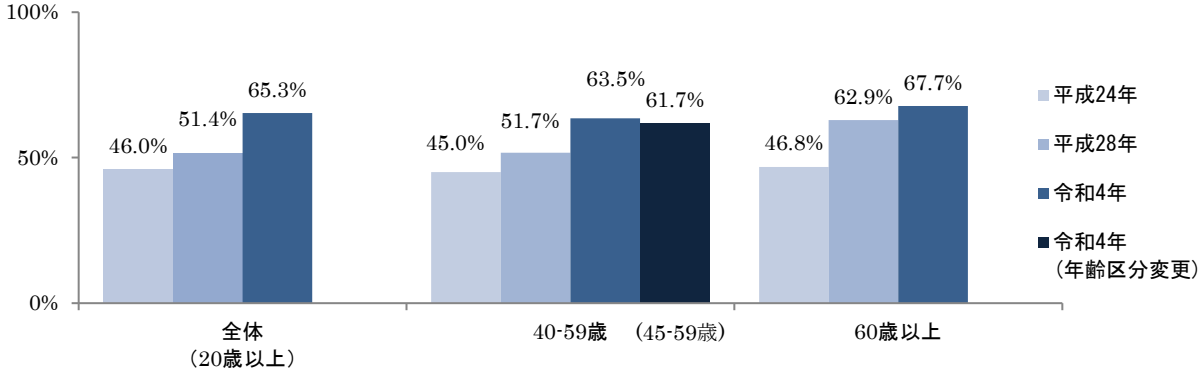
【参考：計画策定時からの推移（歯周病の治療が必要な者の割合）】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

（５）歯と口の健康づくり行動を実践している者の割合

【図 21：過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合】



出典：「食育」と「お口の健康」に関するアンケート調査（大阪府）（平成 24 年）、健康づくり課で実施したネットアンケート（大阪府）（平成 28 年）、大阪府健康づくり実態調査（令和 4 年）

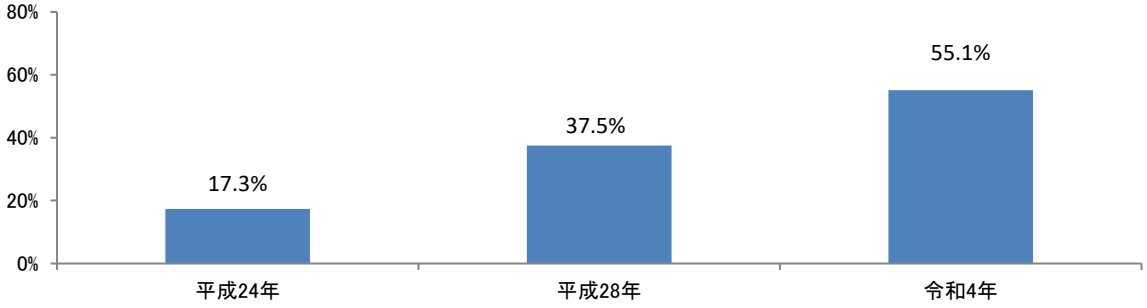
５　歯科受診をすることへ配慮が必要な人（要介護者、障がい児者）

計画P. 23

① 介護老人保健施設での定期的な歯科健診の実施状況は令和４（2022）年度調査では55.1%となっており、平成 28（2016）年度と比較して増加しています。
② 障がい者（児）入所施設での定期的な歯科健診の実施状況は令和４（2022）年度調査では 70.0%となっており、平成 28（2016）年度と比較して増加しています。

（１）要介護者

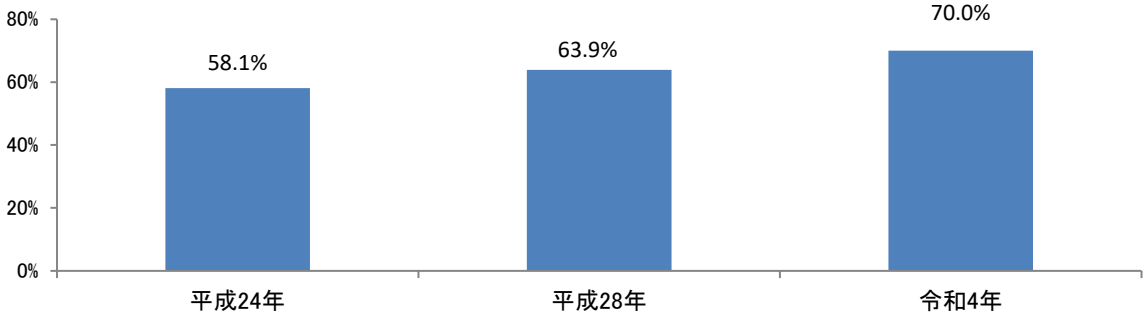
【図 22：定期的な歯科健診の実施（介護老人保健施設等※）】



出典：府内の介護老人保健施設等における歯科保健の取組についての調査（大阪府、平成 24 年・平成 28 年・令和４年）　※介護老人保険施設等は、平成 24 年は介護老人保健施設、平成 28 年・令和４年は介護老人保健施設と介護老人福祉施設を対象としています

（２）障がい児者

【図 23：定期的な歯科健診の実施（障がい者（児）入所施設）】



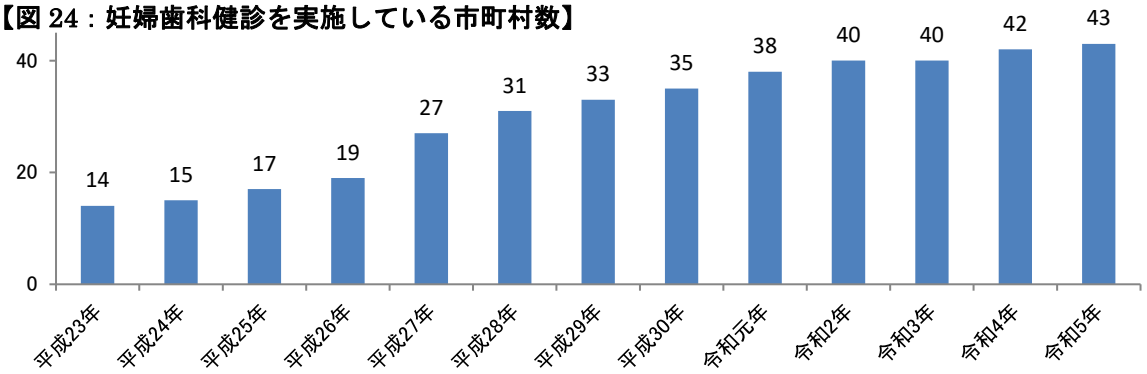
出典：府内の障がい者（児）入所施設における歯科保健の取組についての調査　（平成 28 年・令和４年）

基本方針 2　ライフコースに沿った歯と口の健康づくりを支える社会環境整備 計画P.36

① 妊婦歯科健診を実施している市町村数は府内全市町村で実施されています。
（図２４）※目標達成
② 法令で定めた年齢以外に成人歯科健診を実施している市町村数は概ね横ばいです。
引き続き、健診年齢の拡充に取組んでいただけるよう働きかけます。（図２５）

1　妊婦歯科健診を実施している市町村数

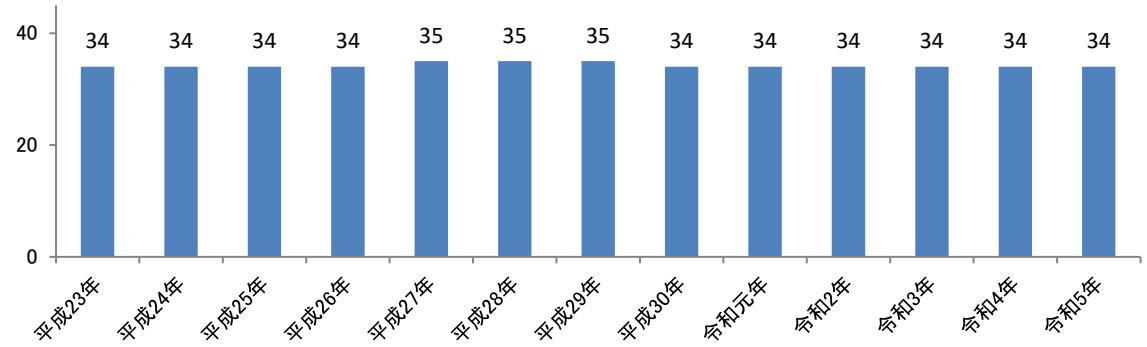
【図 24：妊婦歯科健診を実施している市町村数】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

2　法令で定めた年齢以外に成人歯科健診を実施している市町村数

【図 25：法令で定めた年齢以外に成人歯科健診を実施している市町村数】



出典：大阪府市町村歯科口腔保健実態調査